

背中の痛みの問題改善

臨床編 その1



❖はじめに

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。
下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

もくじ

| | |
|---|----|
| 1 : 高尾山の登山で左股関節痛から左半身の痛み..... | 4 |
| 2 : なかなか取れない背中の中の痛みの原因はお腹の冷えだっ た。..... | 8 |
| 3 : 首から背中にかけての痛み | 13 |
| 4 : 胎児が大きくなり背中痛 | 19 |
| 5 : 過食による背部痛 | 25 |
| 6 : 眼精疲労で背部痛 | 30 |
| 7 : テニスのやり過ぎで起きた背部痛と膝痛と思っ たら・・・？ | 34 |
| 8 : ぎっくり背中の中の激しい痛みが鍼灸で改善した原因と は？ | 40 |
| 9 : 妊婦の背中の中の痛みと、吐き気、頭痛。..... | 44 |
| 10 : 頸椎椎間板ヘルニアによる首から背中にかけての激 痛..... | 49 |

❖ 1 : 高尾山の登山で左股関節痛から左半身の痛み

50代 男性

友人と高尾山で登山をしてきた。

登山は40年ぶりだったためか、途中から左股関節に痛みが出てきた。

しかし、楽しく登山をしているのに、痛いなんて口に出したくなかったため、我慢しながら歩き続けた。

そして、翌日朝起きたら、左の股関節痛はなくなっているが、左下半身が張っているような痛いような感じになり来院。

うつ伏せで背中を見てみると、左側が腫れあがっている。

左ふくらはぎは、鉄柱が入っているように固まっている。

うつ伏せ、仰向けの順で鍼を使い、筋肉のバランスを取っていくと、右の腹筋が全ての固さの支点になって固まっているのがわかった。

運動針でその固さと連動性を正して、全体のつらさが取れた。

今回の症例は、二つのパターンが考えられる。

一つ目は、慣れない山道の上り下りで、左股関節に負担をかけたため、炎症が起き痛み始めた。

そこで、左脚に負担をかけないように、右側を意識的に使っていた。

二つ目は、普段から腹筋を鍛えているが、トレーニング中の癖で無意識的に、右側を主に鍛えてしまっている。

そこで、登山中に、右側は疲れずに済んだが、左側は疲れで痛みを発した。

前者の場合は、炎症があるため、翌日に痛みが引くことは考えにくい。

後者の場合は、疲労痛のため睡眠をとっただけで、痛みが消失した。

そして、左側背部とふくらはぎの硬さは、股関節が痛いた

め、自然と重心が左脚にかかる時に後ろ側へ逃がしていたのだらう。

この患者さんは、これからも、登山をする機会を増やしていきたいということなので、このバランス異常を正すようなトレーニング法を指導して終了とした。

❖ 2 : なかなか取れない背中の中の痛みの原因 はお腹の冷えだった。

30代 男性

4～5日前に、中腰になった瞬間、腰の上の方が痛くなる。

その後、2日間、かなり痛みが強かったため、会社を休み、
実家へ帰り静養したことで、少し落ち着いた。

しかし、まだまだ痛みがある。

うつ伏せで背中を診ると、それほど問題点は見つからない。

痛みがあるのに、その痛む部分に問題がない場合は、ほぼ
内臓の異常と考えていい。

そのため、うつ伏せでは、何もせずに仰向けになってもら
う。

すると、腹部全体と膝から下外側に、異常な緊張が診られ
る。

ほぼ、食べすぎの所見である。

そして、冷えと胃腸の機能低下が考えられる。

そこで、これらを改善するために、鍼を行うと、見る見る
うちに全体がゆるんできた。

これで、再度うつ伏せになると、先ほどまでなかった歪み
や緊張がたくさん表れている。

その異常反応を、一つ一つ鍼で取り除いていった。

起き上がってもらおうと、背中の中の痛みも不安感もなくなっている
るので、終了とした。

この患者さんのケースは、睡眠時間が短いのに、食べる量は、
通常より多めであった。

それでも、消費するだけの動きが、仕事なり運動なりで取
られていれば、まったく問題ないのだが、仕事はデスクワ
ークで、運動は一切していない。

それでいて、消費するための睡眠時間も取れていない。

そのため、胃腸に負担がかかりすぎ、機能低下を起こして
しまった。

そして、腹部全体が冷えてしまったこと（内臓の機能低下＝冷え）で、腰の曲げ伸ばしをするだけで、背中側の筋肉が痛みやすくなっていたのである。

胃腸が冷えると、肩甲骨の下辺りから腰の上辺りにかけて固まってくる。

この固さは、触って分かる場合と、動かしてわかる場合がある。

この患者さんの場合は後者で、動かした時に、背中の中の固さ以上の動きをしてしまったために、痛みが出たものと思われる。

従って、胃腸の機能を取り戻し、腹部の冷えを鍼で取り除くと、残った背中の中の固さが現れた。

最終的に、その固さも取り除いたことで、楽になったのである。

身体は、本当に正直に全てを教えてくれる。

いくら、言葉でウソを言っても、身体を触ると事実がわかってしまうほど、正直者である。

その身体の情報通りに、治療を行っていけばいいのだから、東洋医学は単純明快な医学であり、副作用もない安全な医学と言えるだろう。

❖ 3 : 首から背中にかけての痛み

30代 女性

2週間ほど前から、仕事に首が痛くなり、どんどん強くなるにつれ、肩甲骨の間まで痛みが下りてきた。

最近では、仕事だけでなく、普段も痛みがあり、仕事ではさらにひどくなり、仕事に集中できないとのこと。

原因は不明。

まず、うつ伏せで背中全体のチェックを行う。

すると、首の上部には、筋肉の張りがまったくないことがわかる。

しかし、そこから下は、特に左側の筋肉に固さが広がっている。

そして、左肩甲骨は、手で押してみても、まったく動かないほど固まっている。

そればかりか、左の骨盤まで、まったく動かなくなっている。

これは、骨盤が先に狂い始めたのか？肩甲骨が先か？首が先か？予測できないほど、それぞれの固さが際立っている。

こういう時は、整体でそれぞれの動きを確認しながらチェックしていくのが、手っ取り早く安全である。

ということで、整体を行っていくと、原因は、首上部の筋

力不足から起こった、背中の中の歪みであることがわかった。

これは、最近非常に増えているケースである。

仕事中、PC 作業を行う人に多く現れる現象だ。

PC の画面を、覗き込むように頭が前に突っ込んだ状態で、
長時間作業をしていると、頭の重さにより、首後側の筋肉
が疲労を起こす。

その疲労に気付かず、作業を続行していると、筋肉が限界
となり、痛みを発する。

この痛みから逃れるように、首を傾けたり、変な姿勢を取
っていると、背骨を中心に歪みが現れる。

さらに、痛みから逃れるための姿勢が固定され始めると、歪みも固まってくる。

すると、頸椎椎間板ヘルニアのような症状が現れるようになるのだ。

これは、背骨と背骨の間から、自律神経、運動神経、知覚神経が入り出しているためである。

歪みとは、この背骨と背骨の間隔が変化することを意味し、間隔が狭くなると、それぞれの神経を圧迫する可能性が出てくるのだ。

自律神経を圧迫すれば、内臓に異常をきたし、運動神経を圧迫すれば、筋肉が動きにくくなる。

また、知覚神経を圧迫すれば、痛みやしびれを感じることとなるのだ。

従って、治療方法は、固まっている歪みをゆるめながら骨の位置を正常に戻すことである。

ただし、この患者さんは、歪みの元に首上部の筋疲労があった。

ということは、PC 作業を行うための筋力が首にないということである。

そのため、整体終了後、首や背中の中の痛みがなくなり、スッキリしたと喜んでいるそばから、首の筋力トレーニングの指示を行った。

痛みやしびれ等の症状は、我々が取り除くことができたとしても、筋力を付けるのは、本人以外できる人はいない。

そのため、ここが一番重要なところであるが、行動に移れない人が多い。

自分が苦しいのだから、自分で対処したり、予防できたりした方が良さそうなものだが・・・。

❖ 4 : 胎児が大きくなり背中痛

30代 女性

妊娠7ヶ月で、かなりお腹が張ってきたため、姿勢を正そうとしていたら背中が痛くなってきた。

お腹の大きさから、うつ伏せは出来そうもないので、横向きで身体を診ていくことにした。

まず、背中を触った瞬間に、固いと分かるほど張っている。

そして、もっと細かく診てみると、小さく固まっているコリが点在している。

これは、このこっている部分を押しなけば発生しないも

の。

逆に言えば、押ししてしまったからコリができてしまったのである。

そして、この固さは、相当慢性化していると言っていい代物だ。

元々、筋肉のコリというのは、通常的生活では発生しない。

始めに感じるのは、必ず筋疲労からである。

筋疲労は、疲労物質が溜まっているだけなので、十分に筋肉を伸び縮みさせれば、あっという間に疲労は抜ける。

しかし、マッサージ業界が盛んになってしまった今。

ほとんどの人が、筋疲労の段階で、マッサージを受けてしまう。

物足りない程度のマッサージであれば、それほど問題なく済むのだが、この初めてのマッサージで、しっかり指圧を入れてしまったり、揉み返しとなった場合。

その部分に小さな炎症が起きる。

その炎症が治まると、少しだけ、他の筋肉より強く（固く・太く）なって成長してしまうのだ。

次に、また筋疲労を起こしたときには、この少し強くなった筋肉のところが、気になるようになる。

これは、他の所よりも血液循環が悪くなるからだ。

気になるところは、また押せば楽になると思い、押ししてしま
う。

すると、その場は楽になるが、また炎症が起き、修復する
と強くなり、また気になってしま

これが繰り返されることで、《慢性のコリ》を作ってしま
うのだ。

ここまで来てしまうと、筋肉を伸び縮みさせても、あまり
変化しなくなってしまう、むしろ、そのコリを押しつぶし
て破壊しなければ、気持ち良さが伝わらなくなってしまう。

これでは、行き着くところは、《感覚が麻痺》するか、誰
が押してもまったく効かない《最強のコリ》となってしまう
う。

そのため、私は、ゆっくりと時間をかけて、その固まってしまったコリと、本来の筋肉が連動するように鍼灸を行っている。

しかし、今回のケースでは、妊娠中であり、これからさらに、お腹は張ってくる。

当然、「背中痛はひどくなるばかり。」という予想がつくため、仕方なく鍼でそのコリを破壊することにした。

終わった後には、「本当にスッキリしました。」と言われたが、こちらは逆にどんよりとしてしまった。

なぜなら、次回来院する時は、そのコリがさらにひどくなっている可能性があるからだ。

そのため、患者さんには、「つらくなっても絶対押さないでください。押してしまったら、もっとひどい症状になりますからね。」と口を酸っぱくするほど言ってみた。

この私の言葉が、伝わってればいいのだが、このようなコリを作るほとんどの人が、その場しのぎとして、肩こりの治療をしてきた人たちである。

そのため、つらくなったらすぐに押してしまい、ひどくなってしまふのが通例なのである。

❖ 5 : 過食による背部痛

30代 女性

毎朝ベッドから起き上がるときに、背中全体が痛む。

それ以外にも、常に背中に何かかへばりついている感じが
するとのことで来院。

まず、うつ伏せで背中を見て一言、「過食気味ですか？」と
聞くと、

「えっ！？あっ、はい。食欲が異常にあります。」

「ですよ！決して太っているという意味ではなく（普通の体型）、胃に熱がある状態が背中に出ているので聞いてみ

たんです。」

「そんなのが、背中に現れるんですか？」

「はい、ご自分の背中を見たことはありますか？」

「あります。」

「それでは、少し産毛が濃いのはご存知ですか？」

「はい、少し毛が生えてるかな？とは思っていました。」

「これは、内臓の冷えを表しているんですが、胃の反応が現れる場所にだけ、毛が生えてないんです。」

「ええ！そんなことあるんですか？」

「あります。これが、胃の熱を現わしているということです。」

胃の熱は、胃酸過多を現わしていて、過食になっている傾向がある。

しかも、胃以外の内臓には、冷えが現れていることから、冷たいものの取りすぎと、慢性的な睡眠不足であることもわかる。

実際、氷が入っている飲み物が好きで、氷を直接なめることも多い、さらに、睡眠はとらなくてもいいと思っているぐらいだとか。

これは、完全に自律神経失調症で、交感神経だけで動いているといっても過言ではない。(実質的にはありえない

が・・・。)

まずは、胃以外の臓器の冷えを取り除き、働けるようにすることで、副交感神経が活発に動くよう調整する必要がある。

副交感神経が、活発に動けば、胃酸も出過ぎることはなくなり、自然と背中の中の痛みも引いてくるはず。

そこで、背中と脚の内臓と直接つながるツボへお灸を行い、胃の活動量を減らす治療を行った。

これで立ち上がってもらうと、通常だと痛みが出る、起き上がる動作で何ともなく、立ち上がってみても背中の中の軽さを実感できている。

後は、意識的に睡眠を取ることと、食事量を少し減らす努力が必要だろう。

睡眠を取りたくなければ、まずは安心して大丈夫だが、いつまでも眠くならないようだと、また再発しかねない背中の痛み。

今後の生活習慣の改善に注目である。

❖ 6 : 眼精疲労で背部痛

50代 男性

2週間ほど前から、背中全体が痛くなる。

特にゴルフなどで、左右に捻るときが辛いとのこと。

背中を触っても、脈を診ても、右側の弱さが強くあらわている。

しかし、症状は全体に感じているらしい。

この右側の弱さ、ツボの反応からは、かなり肝臓が弱くなっているためのものと診てとれる。

そこで、最近、

◎飲酒量が多くなっていないか？

◎目を使いすぎていないか？

◎イライラすることはないか？

◎身体を冷やすような飲食をしていないか？

などを聞いていくと、目を酷使している以外は当てはまらないとのこと。

従って、眼精疲労に絞って治療を行うことにした。

目の周りの血流を良くしながら、背中の中の弱くなっている筋

肉を補強するように、お灸を行う。

すると、かなり全体がしっかりし始めたので、横向きになってもらい、目・首・肩・腕・背中動きに連動性をつけるような整体を行った。

これで、立ち上がってもらい、身体を動かしてもらおうと、「ん？ おっ？」と言いながら、上半身を何回も捻っている。

そこで、「痛みはどうですか？」と聞いてみると、「痛くないですねえ！うん、痛くない。」と、不思議がりながら、しばらく身体を動かしていた。

目は、肝臓の窓と言われている場所。

従って、目の疲れは、肝臓の疲れとも言える。

そして、もう一つ肝臓の疲れを現わす場所に、筋肉がある。

肝臓は、身体を横断する形で存在しているが、左側よりも右側の方が大きい形をしている。

従って、肝臓の疲れは、右側の筋肉に現れやすいということも言えるのだ。

そして、この疲れを取り除く方法として、お灸が最適なのである。

この流れが理解できると、いろんな症状を理解できるようになる。

こういうところが、東洋医学の面白いところであり、奥深いところなのです。

❖ 7 : テニスのやり過ぎで起きた背部痛と膝痛と思ったら・・・？

40代 女性

最近、右の背中がずっと痛くてつらい。

さらに、右膝も曲げ伸ばしや階段で痛むとのこと。

ほぼ、毎日のようにテニスを行っているため、いつの間にか痛めたのだろうということで来院。

ところが、よくよく話を伺ってみると、昔から疲れがひどくなると、右の背中が痛むことが多いという。

これは、《テニスだけの問題ではないはず！》と思い、慎

重に身体をチェックしていく。

すると、脈もツボも身体も全て肝臓が疲れている反応がある。

ということは、「お酒の飲み過ぎかな？」と思い、聞いてみると、そんなに飲むことはないらしい。

ところが、突っ込んだ話をしていると、テニスで疲れ切った後にお酒を飲むことはあるらしく、この影響が考えられる。

中医学では、肝臓と筋肉は密接な関係があり、筋肉を使いすぎると、肝臓を使いすぎている状況に陥るように考えることができる。

従って、

テニスで疲れた＝筋肉を使い果たした

と、考えられる。

その状況で、さらに飲酒で肝臓に追い打ちをかけた。

そのため、筋肉が限界を感じた。

しかも、右の背部。

そう、肝臓が最も大きい部分の真裏である。さらに、肝臓を身体の前側から触ってみると、ひどく固くなっている。

そのため、腹部右側の筋肉も緊張があり、骨盤を固めてし

まっていた。

その影響で、膝を動かしにくくしていることも分かった。

テニスで、筋肉を動かし過ぎて、痛みの原因を作っている
るので、スポーツ障害とも診れるが、肝臓の問題もかなり
強い。

「この肝臓だと、脂肪肝になってしまいますよ！」という
と、

「もう、脂肪肝です。何年も前から、健診で必ず言われて
ます。」と、平然と言われてしまった。

ということで、関節や筋肉はさておき、肝臓の機能を復活
させる治療を中心に行わなければ、問題は解決しそうにな

いので、棒灸で、徹底的に肝臓の調整を行った。

この治療だけで、ほぼ背中の中の痛みは取れたが、膝の痛みは、かなりびっこをひいてテニスをしていたようで、炎症が残っているようだ。

これを、銀粒（銀色の仁丹のような粒で、刺さないタイプの鍼であり、シールで貼っておくことができる。）で調整し、曲げ伸ばしも問題がなくなる。

あとは、階段がどうかだが、まずは、肝臓をじっくり治す方が先決であろう。

今痛いからといって、痛みを抑えるだけの治療を施していても、痛みの原因が改善されていなければ、もっとひどい症状が次々と発症してしまうことが容易にわかる。

従って、私は局所治療も大事にしているが、それ以上に原因を追究し、根本を正すことを大事に考えている。

患者さん側も、そのことをしっかり理解していただけると、スムーズに治療を行えるが、やはり、痛みだけ取ってもらえれば十分と考える人も多い。

手をつけられないようなひどい症状になる前に、原因を取り除いた方が、後々苦しまずに済むと思うのだが・・・？

❖ 8 : ぎっくり背中の中の激しい痛みが鍼灸で改善した原因とは？

30代 男性

5年ほど前から、仕事でストレスを感じると、ぎっくり腰のような痛みが背中に出るようになった。

頸椎椎間板ヘルニアではないようだけど、頸肩腕症候群ではないか？と病院で言われる。

スポーツ整形外科や心療内科を回り、あまり効果がないので、鍼灸やオステオパシーなどたくさんの治療を受けてきたが、どれも原因がつかめず効果も出なかった。

しかも、この症状が出るようになってから、尿路結石や百

日咳と続け様に発症し、子供の風邪にもうつりやすくなった。

そして、1カ月前に寝違えてしまい、それ以来、首も動かせなくなっている。

ぎっくり背中の原因と治療

まず、うつ伏せで背中を診ると、病気を続け、ストレスも受け、症状の緩和も出来ないためか全身疲労で身体がむくんでいる。

そこで、棒灸（大きなたばこのようなお灸で、熱さを調節できるのが便利）を使い、全身を強めていく。

すると、肩甲骨の間の背骨が凹んでいて、肺を圧迫してい

ることが判明。

これでは、風邪が引きやすいのもうなずける。

この範囲は、肺と心臓との関連がある場所で、アレルギー症状や、風邪をひきやすい人、またはストレスを受けやすい人も反応が出ていることが多い。

しかも、この部分が、ぎっくり背中で最も痛む位置らしい。

どうやら、動きの中で痛めたものではなく、元々内臓の弱さを表している部分が、疲れを感じた時に発作的に症状を表しているようだ。

そこで、肩甲間部の背骨を矯正するように、運動針を行った。

このような治療を初診時と、一週間後に行い、その二週間後に来院した時は、ほぼ症状は取れ、肩こりの重さだけになっていた。

だいたい、このようなぎっくり腰や寝違いのような、急激な痛みを発したときの処置で失敗するのが、患部しか見ないことである。

どんな症状であれ、原因がはっきりしているもの以外は、全体をしっかりとチェックする必要がある。

意外と、痛みとは関係なさそうなところに、原因が潜んでいる場合が多いからだ。

❖ 9 :妊婦の背中の中の痛みと、吐き気、頭痛。

妊娠中のつわりで、吐き気や頭痛に悩まれている方は多いと思いますが、さらに背中の中の痛みが加わったら…？

30代 女性

妊娠12週目、つわりで吐き気がひどくあり、日に何度か嘔吐してしまう。

さらに、背中から肩にかけてのこりが強くなり、頭痛もひどく、目を開けているのもしんどい。

脈はしっかりしているので、胎児には問題ないようだ。

(中医学による脈診では、胎児の状態を調べる方法がある。)

つわりの原因は、恐らく胎児の成長に、身体がついていけてないためなのだろう。

夜も吐き気で起きてしまうため、熟睡もなかなかできないとのこと。

背中の状態からは、内臓全般の疲れも伝わってくるため、お灸を行いたかったが、つわりで臭いが全く受け入れられず、気持ち悪くなってしまいうようだ。

そのため、鍼で調整を行っていくことにした。

内臓の機能を活性化し、筋肉の緊張をゆるめ、睡眠を取りやすい状態にしていく。

そして、頭痛の一番の震源地である、右前頭部外側と関係

のある、胃経の気の流れを調整し終了とした。

終わった後には、「温かくて眠くなりました。」と、来院時とはうって変わって、朗らかな感じになっていた。

中医学では、特定部位に痛みが出る場合、気の流れが狂っているために起こるととらえる。

そして、気の流れを整えるための技術として、ツボを刺激する鍼灸がある。

ツボは、身体の情報を経路によっていろいろな形となり、サインを出しているところ。

例えば、胃が痛い時に、胃につながっている特定のツボへ、痛みの情報（度合いや状態）が伝わり、その痛みの種類に

応じて、固くなったり、盛り上がったたり、凹んだり、冷たくなったりと、さまざまな形になって表れるのである。

従って、異常なところが全くない身体では、

ツボが現れない

ということになる。

現に、治療を行っていく過程で、ツボの反応（数）が減っていくと、必ずと言っていいほど、症状も改善されていくのだ。

そして、ツボは、ある通り道で全てがつながっている。

その通り道のことを、東洋医学では「経絡」という。

経絡は、六臓六腑（六臓：肝・心・脾・肺・腎・心包（心臓の膜）、六腑：胆・小腸・胃・大腸・膀胱・三焦（水分のバランス調整を行う））に、それぞれ一本ずつの道がある。

そのため、どの経絡に異常が出ているかが確認できれば、どの臓器に異常が出ているのかがわかる、非常に単純でわかりやすい医学なのである。

❖ 10 : 頸椎椎間板ヘルニアによる首から 背中にかけての激痛

40代 男性

3週間ほど前から首が痛くなり、その後左の肩甲骨内側まで痛みが広がり、最近では、左腕、特に肘の痛みが強くなってきた。

そして、

全体的にしびれている

という。

この方は、元々頸椎椎間板ヘルニアを持っていて、時々こ

のような状況になるらしい。

まず、脈を診てみると、かなり乱れがある。

これが、内臓から来ているものなのか？骨格のバランス異常なのか？を確認するため身体全体を触っていくことに。

すると、どちらともとれる状況であるため、とりあえず内臓の調整を始めることにした。

手と足に一本ずつ鍼を刺すと、急に肩の緊張がゆるんだ。

このような反応は、内臓から影響していることが多いが、まだ首の方には固さが残っている。

これは、骨格の問題なのだろうと考え、直接鍼を刺してい

く。

このような操作を、うつ伏せと横向きで行い、立ち上がってもらおうと、

「かなり、楽になりました。何か、締め付けられて苦しかった感じが全くなくなりました。」と、言っていただけだ。

上記で、内臓と明記したが、実は内臓ではない。

どういうことかということ、五臓六腑を知っているだろうか？

五臓六腑とは、肝臓、心臓、脾臓、肺、腎臓の五つで五臓、胆のう、小腸、胃、大腸、膀胱、三焦の六つで六腑である。

しかし、この中の三焦は、実在する臓器ではなく、機能のことを言うのである。

三焦とは、上焦（みぞおちから上）、中焦（みぞおちから臍の間）、下焦（臍から下）の三つを合わせたものである。

そして、この上中下の三つをバランス（要は身体全体のバランスということ）よく保つ作用を、三焦とよんでいるのだ。

さらに、五臓六腑には、それぞれ経絡と言って、気の流れる道が身体の左右に一本ずつ流れていて、そのところどころで、内臓の異常や気の流れによる異常を現わすポイントがある。

それが、ツボである。

少し長くなったが、この患者さんの異常は、三焦に現れていた。

三焦の経絡は、手の薬指から、肩、首を通して頭へと流れる。

この道順途中に、反応があり、さらに、脈からも異常サインが現れていたのだ。

このように、

身体の痛みや違和感、内臓の機能、そして経絡や脈診など、さまざまな身体の反応を診断ポイントに置いている東洋医学は、非常に繊細な症状でも確認でき、即治療できる構造となっている。

現代のように検査の機械が作れなかった大昔では、身体の反応をしっかりとらえることで、病態や疾患を確認していた。

人間の身体には、大昔からほとんど変化がないため、今でも十分このような検査で診断できるはずなのだが、機械に頼るばかりに、人間の観察力が落ちてしまい、本当の意味での診断即治療ができなくなってきている。

便利になればなるほど、人間の能力は落ちていくということなのだろうか・・・？

もっと**健康**になるために

もっと詳しい健康情報をご希望の場合には、下記から、
全102ページ、販売価格1,980円

あなたの症状が治らない9つの理由

というレポートを**無料でプレゼント**させていただいています。
このレポートを請求していただいた方は、健康に関する情報が、ご登録のメールアドレスに、毎日届くようになります。
このレポートとメルマガだけでも、十分にあなたの症状を改善するヒントを得られるような内容になっています。
こちらから無料で請求できますので、積極的にこの機会を利用してみてください。

レポート請求はこちらをクリック



QRコードからも請求できます。



作者：キュアハウス鍼灸治療院 院長 中村幸生

メールアドレス：info@curehouse.jp

★共に健康になり幸せな人生を歩むための学びをしていきませんか？：「キュアハウスの健康幸生塾」

<http://curehouse.jp/blog/kouseijuku/>

★痛みや症状などの悩みの原因や改善方法を無料で知ることができるメールマガジン：「キュアハウスの悩み改善徹底基礎講座」

<http://curehouse36.xsrv.jp/kouza/>

★原因不明の症状を徹底的に解明し改善法を手に入れることができるブログ：「原因不明の痛みや病気を改善するたった3つの秘訣」

<http://blog.livedoor.jp/curehouse/>

★病院や治療院に何度通ってもなかなか治らない症状を専門とする鍼灸整体治療院：「キュアハウス鍼灸治療院」

<http://www.curehouse.jp/>



このレポートは、医療に頼らずに、自分自身で症状の原因を見つけ出し、病院の無駄な待ち時間の間に、自ら症状を改善できるような知識と技術をつかみ取っていただくためのヒントを掲載しています。

このレポートにより、あなたの将来における不安が少しでもなくなれば幸いです。

キュアハウス鍼灸治療院
院長 中村幸生